

経営学科		准教授	福田 求	大学院の授業担当 無
教育活動				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	学生の集中力を持続させる工夫	2006年4月～現在	授業の途中でコンピュータやネットワークを利用する簡単な課題を解かせることを頻繁に行っている。これにより100分の授業の中だるみを防ぎ、学生の集中力が途切れないように努力した。	
2	学生の質問を聞き出す工夫	2006年4月～現在	授業の終わりにはほぼ毎回5分程度の質問回答だけの時間を設けた。また全14回(半期)の7回目前後で、質問を重点的に受け付ける回を設け、そこではどのような基礎的な質問でも受け付けるようにし、授業についてこられなかった学生へのフォローも行った。	
3	学生による授業評価の活用	2006年4月～現在	各学期に行われる授業評価アンケートの結果に基づき、学生による授業内容の理解度と教員の授業方法の適切性について確認を行い、次学期以降の授業のための反省材料とした。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
1	「情報検索論」「図書館情報技術論」「情報サービス論」「情報メディアの活用」の教材作成	2006年4月～現在	全ての講義用資料(板書)をHTMLで記述してハイパーテキスト化し、学生に参照させた。	
2	「クラスセミナー」の教材作成	2011年4月～現在	授業中に行われるコミュニケーション理解を目的としたサバイバルゲーム用の自動得点集計システムを作成した。	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事項				
1	司書および司書教諭の資格取得に関して	2006年4月～現在	所属する経済学部のみでなく、司書および司書教諭に関わる科目の担当者として、資格取得を目指す学内の学生のみでなく、学外の学生や社会人に対しても教育・相談を行っている。	
学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)				
年月日		活動内容		
1998年7月～現在		日本図書館協会(図書館情報学教育部会)会員		
1998年10月～現在		日本図書館情報学会正会員		
		同学会 編集委員会委員(2005年4月～2008年3月)		
2005年6月～2006年6月		国立国会図書館レファレンス協同データベース事業データ作成・公開に関するガイドライン策定検討会議メンバー		
2006年9月～2007年9月		米国イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校モートンソンセンター客員研究員		
その他				
受賞歴: 日本図書館情報学会活動貢献賞(2008年12月)				
学内役職・委員等: 獨協大学情報学研究所研究員(2011年4月～2013年3月)				